

平成30年度 大田区立羽田小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

児童数286名、学級数12、教員数23名、今年度開校115周年を迎える地域に密着した学校である。地元の祭りや伝統的な行事への参加はもちろんのこと、干潟観察や量の授業など、地域の方々と学校が一体となって子供たちの健全育成に取り組んでいる。また、羽田空港に最も近い学校であり、総合的な学習の時間を用いたバリアフリーの学習やキャリア教育、空港イベントへの参加等、空港と日常的に連携を図り、学校教育に生かしている。また、東京都人権尊重教育推進校としての歴史は長く、近隣の高齢者団体や幼・保育園、障害者施設や食肉市場の方々との交流を通して、都の人権課題について積極的に学習に取り組んでいる。このように、本校は「地域力と国際都市おおた」の実践に意欲的に取り組み、「人権尊重教育」に力を注いでいる学校である。

また、学力向上においては、放課後補習教室や土曜補習教室（羽田っ子塾）、夏休みの補習教室などを利用し、日頃の学習の成果や学習効果測定などの結果を基に、全教員が力を

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:算数ステップ学習プリント100点到達率90%以上	4	全校で算数ステップアップ学習プリントを単元末に行い、100点になるまで直しをさせワークテストを行っています。今後は、ステップ学習チェックシートの活用を充実させて学力の向上を図ります。	全校で学力の底上げに取り組まれていることを評価しています。理解ができるまで学ぶことは、次に学ぶことへの基礎になるので、ぜひこれからも努力していただきたいと思います。また、算数は到達度が評価しやすいことは理解しますが、言語能力を養う取り組みも継続的に実施されるとよいと思います。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3:算数ステップ学習プリント100点到達率80%以上			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。				
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成を図っている。	2:算数ステップ学習プリント100点到達率70%以上			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	1:算数ステップ学習プリント100点到達率70%未満			
		授業中に、自分の考えや感じたことを、友達に伝える能力の育成を図っている。				
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:「自分によいところがある」と思うと回答した子供の割合90%以上	3	「学校生活調査」を各学期に実施し、児童の心の状態を把握しています。昨年よりも指数が下がってしまったので、カウンセラーとも連携を図り、指導に生かしていきます。	展示会の様子を見て、未来に向かって豊かに自己を表現している子供が多いことに驚きました。現代の子供たちには無限に広がっていく力があるのだと実感しました。自己肯定感は、自立した社会人としての成長に大きく寄与することを、子供たちに理解させる指導をお願いします。
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3:「自分によいところがある」と思うと回答した子供の割合85%以上			
		学校生活調査（メンタルヘルスチェック）の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。				
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	2:「自分によいところがある」と思うと回答した子供の割合80%以上			
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	1:「自分によいところがある」と思うと回答した子供の割合80%未満			
		自分から進んで挨拶しようとする意識を高め、学校や地域での挨拶の取組を実施する。				
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4:持久走個人内記録を更新した子供の割合80%以上	4	「マラソン大会」に向けて、校内持久走週間に取り組みました。今年度は低学年が校庭、中・高学年は多摩川緑地での開催となりました。今後も活動を充実させて児童の体力向上を図っていきます。	体力向上を重視する姿勢は素晴らしいと思います。羽田小の子供たちにも、身体が健康であることの大切さが根付いていように感じます。「マラソン大会」や「運動会」などの活動は、家庭での対話づくりのきっかけにもなり、豊かな家庭生活づくりにも大いに役立っていると思います。大田区の駅伝大会での成績を見ると成果としてはまだ現れてはいないようですが、近隣校の活動などを参考にしながら取り組まれるとよいと思います。また、日常的にも朝や休み時間等を使って、継続的に体を動かす取り組みがあれば体力づくりに役立つのではないかと思います。
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3:持久走個人内記録を更新した子供の割合70%以上			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	2:持久走個人内記録を更新した子供の割合60%以上			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。				
			1:持久走個人内記録を更新した子供の割合60%未満			
		健康・体力増進取組校として、持久走に重点をおき、校内マラソン大会に向けて授業等で持久走に取り組んでいる。				
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:「教師は、授業や補習で子供に基礎・基本を理解させている」と回答した保護者の割合が85%以上	4	全教室に配置されたICT機器を活用し、デジタル教科書を用いた授業やタブレットを用いた授業に取り組んでいます。今後も研修を充実させ、効果的な活用方法を考えて授業力の向上に努めます。	ICTの活用を含め、授業の手法については、教員が自身の得意とする方法を柔軟に選択できるようにすることが必要であると思っています。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	3:「教師は、授業や補習で子供に基礎・基本を理解させている」と回答した保護者の割合が75%以上			
		各種研究発表会等での研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。				
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	2:「教師は、授業や補習で子供に基礎・基本を理解させている」と回答した保護者の割合が65%以上			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	1:「教師は、授業や補習で子供に基礎・基本を理解させている」と回答した保護者の割合が65%未満			
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4:家庭学習を忘れずに提出していることが学級の90%以上	4	児童の実態にに応じて宿題の内容を工夫し、忘れてきた児童については、休み時間や放課後の時間を使って指導し提出させています。宿題の提出は小中一貫教育での重点課題でもあり、今後も家庭との連携を深め指導にあたります。	宿題が少し多いと思うこともありますが、家庭の意識の差が、学力の差、将来の進路選択の幅の差にまで及ぶことは明白なので、引き続き学校と家庭との連携の強化をお願いしたいです。地域や寿会との交流も相互にとってとても良いことだと思います。2年生の町探検においては、子供たちが学校と羽田の町の人々との良い架け橋に一役かっていると思います。羽田のお店の方々の間では、子供たちと担任の先生の評判が最高に良いです。これからも活動の充実を願っています。
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	3:家庭学習を忘れずに提出していることが学級の80%以上			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	2:家庭学習を忘れずに提出していることが学級の70%以上			
		子供の学力向上のために適切な家庭学習を出し、指導を図る。				
			1:家庭学習を忘れずに提出していることが学級の70%未満			